

# テルモ電子体温計C207

病院用腋下

ET-C207S

## 取扱説明書

本取扱説明書をいつでも参照できるような場所に保管し、ご使用前に必ずよくお読みのうえ、記述されている説明に従って使用してください。

### 注意事項

安全に、正しくお使いいただくために必ずお守りください。表示内容に従わず、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

#### 注意

当該医療機器の使用にあたっての一般的な注意事項。(誤って使うと、傷害を負う可能性、又は物的損害※のみの発生が予想される場合を示します。)

※物的損害とは、家屋、家財、及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

#### 注意

##### 使用上の注意

- 子供だけで使わせないでください。本製品の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをする可能性があります。
- 引火性のある環境では使用しないでください。引火又は爆発の誘因となる可能性があります。
- 人の体温測定以外に使用しないでください。けがの可能性があり、誤作動や故障の原因となります。
- 添付文書及び本取扱説明書を確認の上、使用してください。
- ワキ下以外(口中等)で使用しないでください。誤飲やけがの可能性があり、正しい検温ができません。
- 使用前に、外観に破損等がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しないでください。検温値の異常や、けがの可能性があり、正しい検温ができません。
- 破損したものは使用しないでください。検温値の異常や、けがの可能性があり、正しい検温ができません。
- 強くかまない、踏まない、落とさない、強いショックを与えない、曲げない、引っ張らないでください。破損や故障の原因となります。

##### 保守・点検上の注意

- しばらく使用しなかったときは、使用前に必ず作動(電源が入ること、「電池電圧低下」マークが点灯または点滅していないことなど)を確認してから使用してください。
- シンナー等の有機溶剤、クレゾール、ポビドンヨードでは拭かないでください。有機溶剤を使用したり、使用可能な消毒液以外を使用した場合、本製品の破損、変色や故障の原因となります。また、ポビドンヨードで拭くと色素が付着することがあります。
- ガス消毒器等による本製品の滅菌、消毒はしないでください。故障の原因となります。
- ドライヤー等の熱風を使用して乾燥させないでください。本製品が破損や故障する可能性があります。
- 超音波洗浄はしないでください。故障の原因となります。

##### 保管上の注意

- 日光や紫外線等の強い光があたる場所に保管したり、長時間放置しないでください。変色、劣化や故障の原因となります。
- 収納ケースに磁気カード、フロッピーディスク等を近づけないでください。内蔵されている磁石の影響で磁気記録された内容が損なわれる原因となります。
- 体温計は必ず、収納ケースに収めて保管してください。収納ケースに収めて保管しないと、電源が切れずに電池の寿命が短くなります。

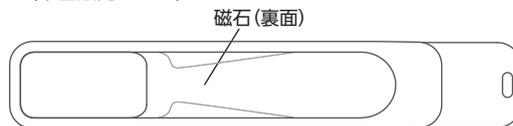
### 各部の名称

#### 構造図

##### ●本体



##### ●収納ケース (単品販売もある)



##### ●表示部 ※説明のため、全点灯で表示

- 初期動作確認機能(告知機能)  
電源が入った時に所定の表示をし、検温可能を告知する。
- エラー表示機能(告知機能)  
検温不良時、ブザーが鳴動し、表示部に「E」を表示する。
- 使用温度範囲外表示機能(告知機能)  
使用周囲温度が、使用条件の範囲外の場合、表示部に「Hi」又は「Lo」のマークを表示する。
- 体温値点滅表示機能(告知機能)  
体温計の測温部が大きくずれた場合等で正常な予測検温が行われなかった際は、その旨を体温値の点滅で告知する。
- 動作不能告知表示機能(告知機能)  
体温計が動作異常を検知した場合に、「EE」のマークを表示する。



### 使用方法

検温を始める前に次の点に気をつけてください。

※微熱等、特に厳密な体温管理が必要な場合には、実測検温(10分以上)を行うことをお奨めします。

#### 予測検温のしかた

##### 1. 収納ケースから体温計を取り出す。

表示は次のようになります(この表示は正常に作動していることを表します)。



##### 2. 体温計を正しい位置にあてる。

ワキ下中央のくぼんだところに測温部をあて、先端部を押し上げるように保持してワキをしっかりと閉じてください。

ワキ下への体温計の挿入角度は、上半身に対し30° くらいの角度が最適です。

ワキを閉じた後はひじが脇腹にしっかりとあたるようにし、手のひらを上に向け、もう一方の手で軽くひじを押えてください。このときひじをおなかの方に引き付けないようにしてください。

●体温計を真横からはさまないでください。先端(測温部)がワキ下中央に正しくあたらないために、正確な検温ができません。

検温中は、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないでください。体温計の測温部が正しい位置からずれると、正確な検温ができないことがあります。

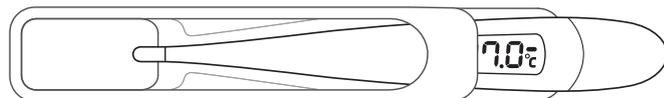
##### 3. 予測成立ブザーが鳴ったら、体温計を取り出し、表示部の数値を読み取る。

1回目のブザーが鳴る前に、体温計がわずかにずれた場合は、自動的に予測時間を延長して、予測値を確認する機能があります。平均約30秒(おおよそ25秒~40秒)で予測が成立します。

●取り出してから表示値が変化したときは、変化後の(固定した)値を読み取ってください。予測演算が終了するまで若干の時間がかかるためです。

●数値を読み取る際、体温計の先端(測温部)に触れないでください。表示が変化することがあります。

##### 4. 検温が終わったら、体温計を必ず収納ケースに収めて保管する。



表示された数値は収納ケースに収めるまでそのまま保持されます。

収納ケースに収めると、内蔵の磁石により、自動的に電源が切れます。

●続けて検温するときは「0」表示以外は収納ケースに戻す必要はありません。前の数値が残ったままでも検温できます。

#### 実測検温のしかた

実測検温の場合は、1回目のブザーが鳴っても、体温計を取り出さずに、そのまま検温を続けてください。検温開始から約4分30秒後に実測表示に切り替わり、検温開始から約10分経過後、2回目のブザーが鳴りますので、体温計を取り出し、表示部の数値を読み取ってください。

# 仕様

仕様は改善等のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

販売名 型式 測温方式	テルモ電子体温計C207 C207 予測式(予測検温、実測検温兼用) 温度検出:サーミスタ	消費電力 分類 耐用期間	約0.3mW 内部電源機器 BF形装着部 IPX 7 (液体の浸入に対する保護) 5年、あるいは連続使用で、約10,000回(予測検温)(自己認証による)
検温部位 測温範囲 検温時間	腋下 32.0~42.0℃ 予測検温時間:平均約30秒(おおよそ25秒~40秒)、測定開始後、約4分30秒後実測表示に切替 実測検温時間:検温開始から約10分(ブザーで告知)	使用条件	周囲温度: 10~40℃ 相対湿度: 30~85%RH(ただし、結露なきこと) 周囲気圧: 700~1060hPa
温度精度	±0.1℃ (恒温水槽を用いて実測測定したとき の表示温度の標準温度計に対する誤差)	保管・ 輸送条件	周囲温度: -10~50℃ 相対湿度: 30~95%RH(ただし、結露なきこと) 周囲気圧: 700~1060hPa
表示方式 電源電圧	液晶表示素子による3桁デジタル表示(最小表示単位:0.1℃) DC 3.0V アルカリマンガン電池(LR41)2個(交換不可)	外観寸法 質量 製造年月日	長さ129mm×幅17.6mm×厚さ12.6mm 約13.0g(電池含む) 本体銘板のロットNO.に記載 例:20-D01A [製造年(YY)ー月(A-L)日(DD)]

本製品はEMC規格IEC 60601-1-2:2014に適合しております。CISPRグループ分類:グループ1 クラス分類:クラスB

## トラブル時の対処方法

故障が疑われる場合には、まず下記の項目について確認をお願いします。それでも問題があるときは、「保証規定」をお読みのうえアフターサービスをお申し付けください。

現象	原因	対処方法
検温するたびに、温度の数値が違う。	体温は、時間帯、気温、睡眠、感情等の要因で常に変動しています。また個人差、年齢等でも違いが見られます。	正しい平熱をあらかじめ検温しておいてください。
	体温計の先端(測温部)が温まっている。	くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端(測温部)を冷ましてから検温してください。
	飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから測ってください。	
(右記の場合は、まれに低めに表示される)	体温計の測温部が正しい位置にあてられていない。	「使用方法」の項に従い、正しい位置で再度検温してください。
	体が冷え切っていたためにワキ下の温度が低い。	ワキを1~2分閉じて、温度を安定させてから再度検温してください。
	体温計が冷えている。	手等で体温計全体を温めてから再度検温してください。
	体温計の先端が温まっている。	先端(測温部)を冷ましてから再度検温してください。
(右記の場合は、まれに高めに表示される)	すでにワキ下の温度が温まりすぎている。	10分間の実測検温を行ってください。
他の体温計と比較して、体温が高めに表示される。	他の体温計が水銀体温計等の実測式であり、検温時間が不十分であった。	「平衡温」を予測しているためであり、故障ではありませんので、そのままご使用ください。
いったん高めの表示が出て、下がってからブザーが鳴る。	予測演算の途中のため。(正常な動作です)	表示が固定されてから、数値を読み取ってください。
ワキ下から取り出したとき表示が変わる。	取り出しても予測演算が終了するまで若干の時間がかかるため。(正常な動作です)	表示が固定されてから、数値を読み取ってください。
	測温部に指等が触れて、検温が再スタートした。	測温部に指等が触れないようにしてください。
ブザーが聞こえない。	周囲の音がうるさい。	静かな環境で再度検温してください。又は2分以上検温してください。
ブザーが止まらない。	静電気による誤動作。	いったん収納ケースに戻してから、再度検温してください。
初期表示(体温計を収納ケースから取り出したときの表示)が正常でない。		
EEが表示される。		
予測検温の表示値が点滅する。	1回目のブザーが鳴る前に、体温計の位置がずれた。	「使用方法」の項に従い、体温計をずらさないようにして正しい位置で再度検温してください。
Eが表示される。	1回目のブザーが鳴る前に、体温計が外れた。	
10分経過時のブザーが鳴らない。	1回目のブザーが鳴った後、体温計の位置がずれた。	
0が表示される。	検温値が42℃を超えている。	人の体温測定以外に使用しないでください。再度検温する際はいったん収納ケースに戻してからにしてください。
「予測」マークが消えている。	検温開始から4分30秒以上経過し、実測値を表示している。	予測検温する場合は、再度検温してください。
再検温の際、ブザーが鳴らず、前回の表示が残っている。	体温計の測温部の温度が高いため測定が開始されない。	少し時間をおくなど体温計の先端(測温部)を冷ましてから再度検温してください。
Loを表示する。	使用可能な周囲温度の下限を超えている。	表示が消える(「88.8」が示される)まで、室温になじませてから、検温してください。
Hiを表示する。	使用可能な周囲温度の上限を超えている。	

お願い 本製品を廃棄する際は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)に従って適切に処理してください。

製品についてのご相談やお問い合わせは、テルモ・コールセンターまでご連絡ください。



管理医療機器  
一般的名称:電子体温計  
販売名:テルモ電子体温計C207  
医療機器認証番号:302AABZX00003

TERUMO

製造販売業者:テルモ株式会社  
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目4番1号

TERUMOはテルモ株式会社の商標です。  
テルモはテルモ株式会社の登録商標です。

ET\_C2075\_J\_50\_001\_05 ©テルモ株式会社 2020年03月 20B07